

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2745 号

Association Between Physical Activity and Type 2 Diabetes Using the International Physical Activity Questionnaires: A Case-Control Study at a Health Promoting Hospital in Chiang Mai, Northern Thailand

国際標準化身体活動質問票を用いた 2 型糖尿病と運動量の関係性：タイ王国北部チェンマイにあるヘルスプロモーション病院でのケースコントロールスタディ

袖野 美穂（そでの みほ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、タイ王国チェンマイのヘルスプロモーションへの取り組みが盛んな地域病院における新規糖尿病診断患者 150 名と地域住民 150 名を対象に、身体活動量や健康教育の実施状況を比較検討した論文である。

【新規性、創造性】 これまで糖尿病と身体活動量との関連を国際標準化身体活動質問票 (IPAQ) を用いて検討した研究は、タイ王国以外の国から報告されてきたが、タイ王国において糖尿病患者の身体活動量を上記質問票を用いて計量的に測定し、検討した報告はない。

【方法・研究倫理】 本論文では、診断後 6 か月以内の新規糖尿病診断患者における運動量が、地域住民と比較して、調整オッズ比が 3.67 (95%信頼区間 1.96-6.87) と有意に高いことを明らかにした。運動の重要性は糖尿病患者群で有意に教育されており (P<0.001、フィッシャーの正確確率検定)、93.3%の糖尿病患者がそのような教育を医療機関で受けていた。

【学術的意義】 現在まで、タイ王国の糖尿病患者の身体活動量を計量的に検討した研究は限られており、本研究は学術的意義がある。

【考察・今後の発展】 本研究は糖尿病患者の身体活動量に関するエビデンスを示し、プライマリヘルスケアレベルで糖尿病の健康教育を適切に実施することで、生活習慣を変化させる可能性を示唆しており、今後は、前向き介入試験をおこなうことが望まれる。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。